

現状・課題

- ・通常学級に在籍する要支援者の割合が毎年増加
- ・管理職をはじめとする全ての教員の特別支援教育に関する専門性向上が必須
- ・児童生徒数の減少により、自校通級設置が困難な学校や市町村が点在し、通級を必要とする児童生徒が指導を受けられていない可能性
- ・通級担当教諭が毎年代わり、経験が5年未満の教諭が約4割

国の動向

- ・通常の学級⇒通級による指導⇒特別支援学級といった段階的な支援が重要（通級利用が望ましいと考えられる児童生徒が受けられていない可能性）
- ・自校通級、巡回指導の設置拡充と通級担当教諭の専門性の向上
- ・採用後10年以内に特別支援教育を複数年経験（R6～）
- ・地域内で知見のある教員が中核となり経験の浅い教員を支援する体制整備

事業内容

趣旨

本道の地理的条件を踏まえ、巡回指導を活用した通級による指導の効果的・効率的な取組を推進し、その成果を広く普及することにより、本道における通級指導教室の設置拡充を図る。
各地域において通級指導に関わるリーダー的な立場の教員を指名し、大学等と連携してその専門性の一層の向上を図り、当該教員を中心に地域における通級指導担当教諭の支援体制を構築する。

【北海道教育委員会の役割】

- ・配置校（巡回指導リーダー教員）、巡回先校及び連携校の指定
- ・外部有識者等を交えた全道運営協議会の設置、開催
- ・巡回指導リーダー教員育成のための研修会の実施
- ・市町村教委へ通級指導教室設置の働き掛け
- ・先進事例の視察
- ・本事業の成果の還元 等

【配置校、巡回先校、連携校を所管する市町村教委の役割】

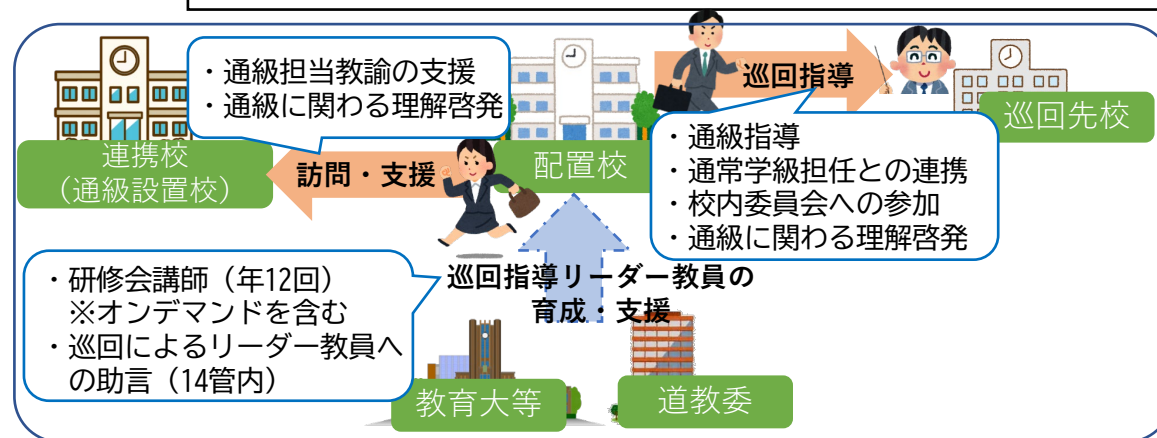
- ・巡回指導リーダー教員が活躍できる体制の整備
- ・域内の小・中学校への通級教室の設置促進
- ・管内の他市町村への事業の成果普及、通級に関わる理解啓発
- ・通級を設置していない市町村教委との連携
- ・関係市町村又は関係校との連絡調整
- ・通級指導教室連携協議会の開催 等

【配置校、巡回先校、連携校の管理職の役割】

- ・円滑な事業実施に向けた校内支援体制の整備
- ・全ての教員に対する通級に関わる理解啓発
- ・市町村教育委員会への進捗状況等の報告
- ・運営協議会及び連絡協議会への参加と関係校との連絡調整
- ・巡回指導リーダー教員に対する指導助言及び進行管理 等

【巡回指導リーダー教員（各管内1名）の役割】

- 本事業で実施する協議会・研修会等への参加
- 〔配置校〕
- 通級の指導 ○ 通常学級担任との連携、支援 等
- 〔巡回先校〕
- 通級による指導 ○ 通級担当教諭の支援
- 通常学級担任との連携、支援 ○ 通級の理解啓発
- 通級の理解啓発 ○ 研修支援



期待される成果

- ・通級による指導を受けて良かったと感じる児童生徒及び保護者が増加
- ・通級による指導を必要とする全ての児童生徒が指導を受けられる体制の整備
- ・通級担当教員の専門性向上及び通常の学級担任の特別支援教育に関わる理解の促進